

あなたと市政をむすぶ★★★★★広報

# なんこく



## 三月定例市議会

この議会は、杉本市長が就任して二年目。一般質問も議員の半数を越える十四人が登壇。三日間の日程を一日延長して四日間に変更するなど議論が続きました。また、一般会計予算では「ゴミ

袋の無料」を修正して千三百三十万円を減額。これを補うため「ゴミ袋一枚につき十円を市民の負担」にし、減額修正した経費を教育費にまわすことが賛成多数で決まりました。

課の設置条例の一部改正は、現在の企画財政、管理の二課を企画課、総務課に、建設課を建設、建築都計の二課に分離するものですが、企画財政課、管理課は従来通りとし、建築都計課のみ増設することに修正して可決しました。

特別職報酬等審議会条例等の一部改正は、課の設置条例が一部修正されたことに伴い否決となったもの。  
このほか、議員提案の「寡婦雇用制度の法制化促進」「農業資産の相続税軽減」の二意見書を可決

## ゴミ袋の無料化ならず

### 十円を市民負担に修正議決

飲酒運転に関する警告決議案を否決、舟入団地建設に伴う工事請負契約締結は継続審議となりました。  
一般会計予算は予算総額四十五億八千六百十四万円で、前年度の当初予算に比べて二五・五割の増。歳入では地方交付税十二億円(二六・二割)国の支出金十一億七千九百七十六万円(二五・七割)市債四億五千九百二十万円(一〇・〇割)県の支出金二億三千三百四十二万円(五・一割)。市税は九億四千二百五十四万円で、全体からみると二〇・六割となっていました。

歳出の目的別では、民生費が二十一億五千二十三万円で全体の半分、四五・九割を占めて福祉優先の予算といえます。あとは、教育費五億七百五十八万円(一一・七割)総務費四億六千九百七十八万円(一〇・二割)公債費三億七千八十五万円(八・一割)土木費三億二千七百七万円(七・一割)農林水産業費一億九千六百七万円(四・三割)の順。  
二月二十八日現在の人口、四万三千四百六十三人からみた市民一人当りの税金は一万一千三百三十三円、市民一人当りに使われるお金は十万五百五十一円と、およそ五倍になっています。

## お知らせ版

# 4/15 1975 No.193

編集・発行/南国市広報委員会